

令和3年度学校自己評価（報告）

	成果
1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ICT を学習やホームルームなどの活動に利用した。特に Google Classroom を用いて学担任からこまめに連絡等を行ったおかげで、健康観察や提出物等の徹底を図ることができた。 学年レクリエーションや学校スキーなどの学年行事を通して、規則や時間を守ることや集団の一員として行動することなど、やるべきときにしっかり行動できることを確認することができた。 年度途中からの試みとして、昼食時の黙食指導に合わせて昼休みの放送を行った。指導や助言をしながらではあるが、流す曲や放送内容を生徒たちに考えさせ、自主的に活動させることができた。
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 進路講演会や大学講義体験を計画通りに遂行し、学年通信を通じて進路や諸連絡などの情報を発信してきた。また、定期的・継続的に担任が面談を行い、生徒理解や問題の未然防止・早期解決に努めてきた。 修学旅行と探究活動を関連づけさせ、実際に体験した内容をもとに探究レポートの作成をさせることができた。 授業・講習・朝学習を通じて生徒の学力向上に努めた。
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、3学期初めから進路決定者と大学入試受験組とをわけ、分散登校としたことで、感染拡大を防ぐことができ、コロナウイルスによる受験トラブルを最小限にすることができた。 様々な特性や持病を持つ生徒と最後まで寄り添い、卒業や進路実現を果たすことができた。
教 務	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板やタブレットの活用が進んだことに加え、授業公開期間を設定により、教員間の授業観察機会が増加し、指導内容や方法についての情報共有が進み、組織としての教科指導力向上につながった。 考査前や学期毎に行った丁寧な成績不振者指導により、欠点をもつ生徒数が減少した。 職員会議をペーパーレス化にして、会議時間の短縮、資源（経費）の節約を図った。 あらかじめ想定されるリスク（急遽、コロナや荒天による臨時休業になった場合の対応など）に対して準備を行い、スムーズに対応出来た（ほうだと思う）。 コロナ禍における中学生体験入学の在り方を模索し、新しいスタイルを提案、試行した。（母校訪問で西高をアピール） 全教員がオンライン授業を経験し、Google classroom や Meet を積極的に運用し、各教員が実施上の課題を段階的にクリアして、スキルアップした。

進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路面は大学等進学志願率 64.1%、進学達成率 89.4%、共通テスト出願率 65.8%、大学等進学率 57.5%となった。国公立大学合格者数は 17 名(実進学数 15 名)で、難関私立大学の合格者数 6 名を加えると昨年度に引き続き目標値に到達した。大学等進学率は現時点で 57.5%と前年比 3.7%減、共通テスト出願率(前年比 0.7%減)以外は概ね前年度比並の数値となった。今年度は、まだ少数ではあるが難関大学に積極的に挑戦する生徒がいた。面接・小論文指導は、今年度から全職員に担当していただくという方法に変更したが、概ね大きな支障もなく指導ができたと思われる。今後も多様な選抜制度に対応できるよう指導していきたい。 ・ 新潟西高生としての端正な身なりを自覚し、社会貢献を意識した人格の育成に努めてきた。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でも、安全な学校行事の実施に向けて幾度も協議を重ねるとともに、西高活性化週間等の新たな活動にも挑戦するなど、生徒会活動の活性化を図った。 ・ コロナ対応型の文化祭企画として実施した芸術鑑賞や ICT を活用したクラス紹介動画作成・視聴は大変好評であった。 ・ 部活動説明や各部の尽力により、部活動の加入率が昨年度よりも上昇した。 ・ 定期的な広報紙の発行や適切なレファレンスサービスが、図書館の利用拡大に繋がっている。
渉外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「PTA だより」WEB 化することができた。
施設保健	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、教室の換気の徹底を図った。 ・ 清掃に必要なゴミ袋、洗剤等の消耗品の管理を適切に行うことができた。 ・ 大清掃時等に必要な清掃用品を事前に準備することができた。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じて、救命救急法講習会を実施することができた。 ・ 生徒の健康診断、身体測定を円滑に実施することができた。 ・ 生徒の体調不良や怪我に対して適切に対応することができた。 ・ 生徒の心身の健康問題の早期発見、早期対応を図ることや、感染拡大防止や予防を図るために、Google フォームを活用した健康観察を実施することができた。